

2004年度
防災教育チャレンジプラン
伊豆半島沖地震から学ぶ
～今、そしてこれからの防災～



静岡県 南伊豆町立南中小学校

本校の総合的な学習の時間

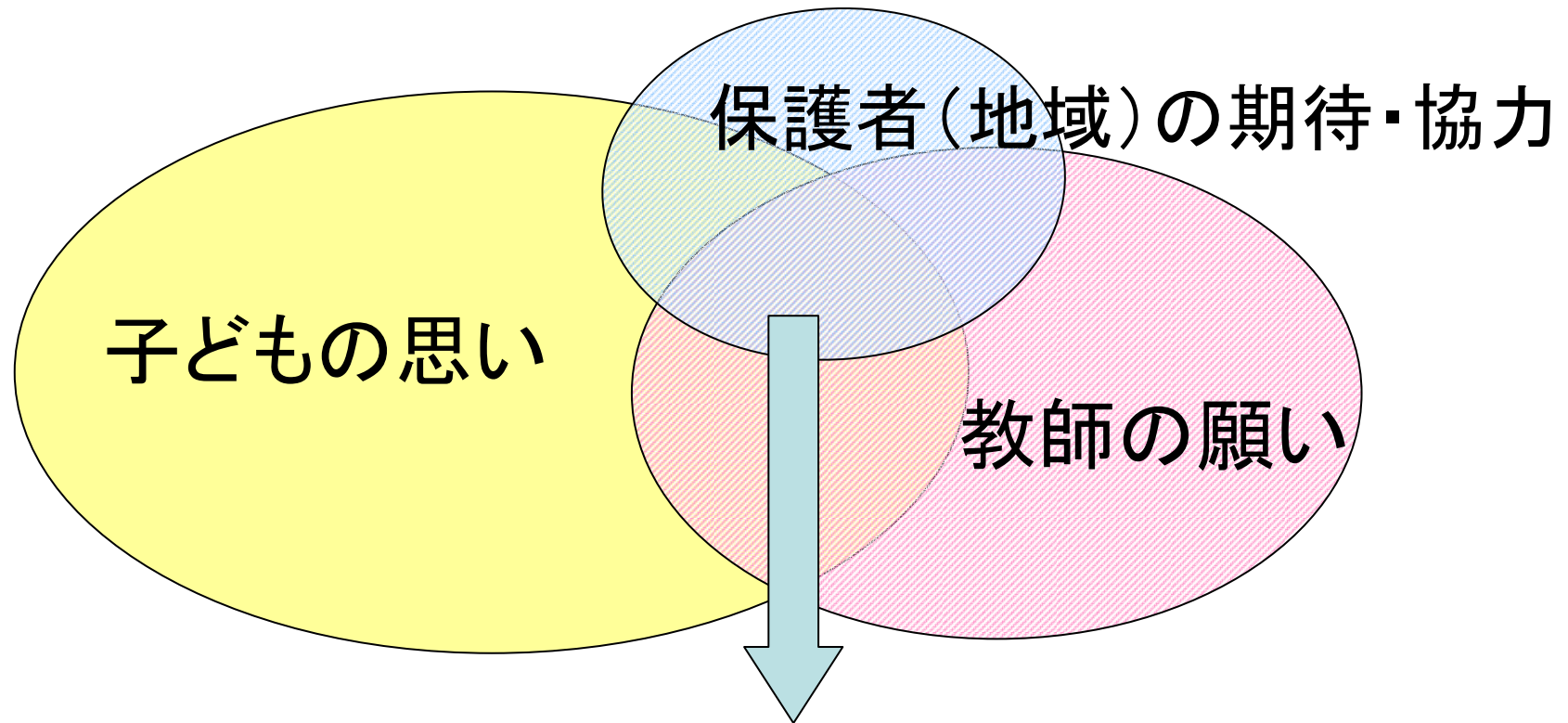
学校のテーマ

「とびだせ！みなみのへ」

総合的な学習の時間でつきたい力

- ◆ 「ひと・もの・こと」と「自分」とのかかわりの中から課題を見つける力
- ◆ 課題を追究し、解決する力
- ◆ 表現する力

テーマ決定までの考え方



**30年前に起きた
伊豆半島沖地震について調べよう**

一冊の文集からスタート

伊豆半島沖地震の記録

「大地は裂けて」



昭和四十九年七月発行



30年経った今でも
大切に思っている
んだ・・・。



身近な人に聞いてみよう

慰霊祭参加

家族を亡くした被災者の方にお話をうかがった。



慰霊碑には亡くなった方々の名前が刻まれていた。



被害の大きかった現地を訪問



当時、消防団長として活躍された方の話

被害の大きかった現地を訪問



母と妻を亡くしたけど、悲しいなんて言ってる間もなく
救助活動したよ。



郷土館で
聞いてみよう

地震調査隊



あの地震で、息子が茶
だんすの下敷きになり
かけてぞっとしたよ。

地震調査隊



水がいちばん困ったよ。
今でも寝る前に、やかんや
ポット、なべ、お風呂などに
水をためているよ。

地震調査隊

しょうゆや酒の一升瓶が割れて、くさくてたまらなかったなあ。



その後、特別注文で、商品が落ちないように柵をつけたそうです。

町役場を訪問しよう

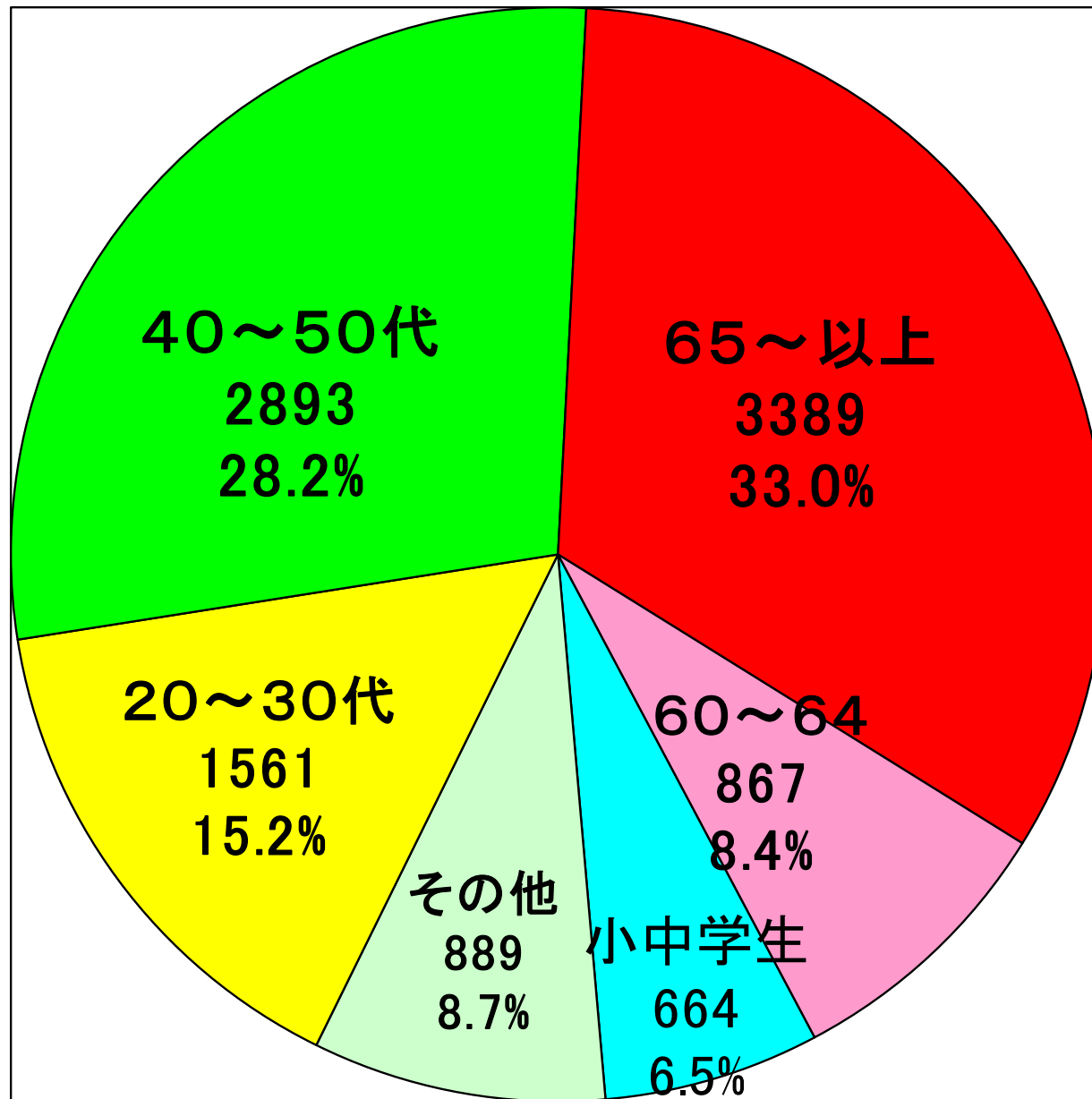


- ◆ 高齢者の割合は静岡県内でも上位
- ◆ ひとり暮らしの高齢者も多い
- ◆ 毛布は2090枚用意

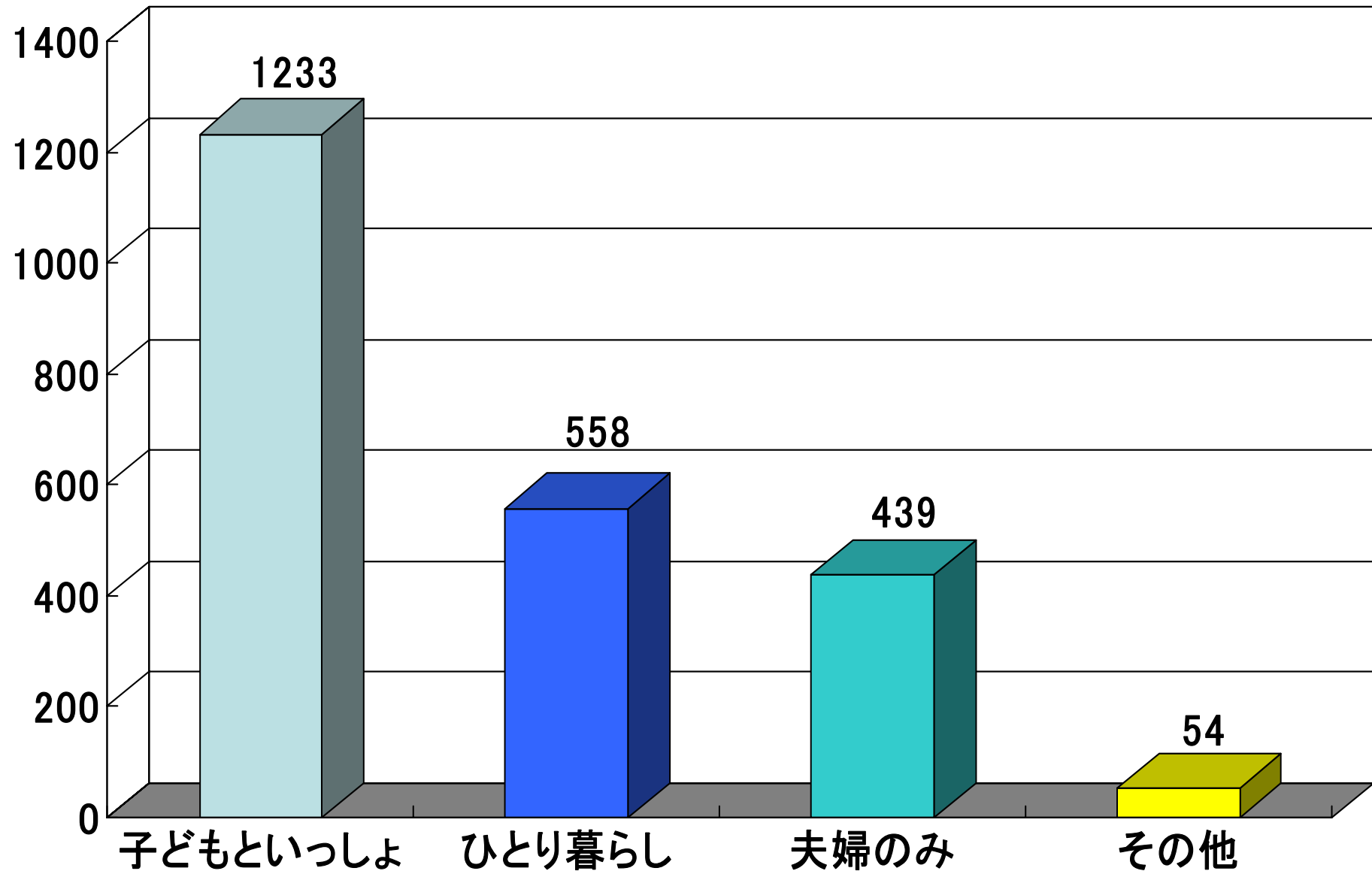


わたしたちにできることは・・・？

南伊豆町の年齢別人口の割合



南伊豆町の高齢者の世帯数



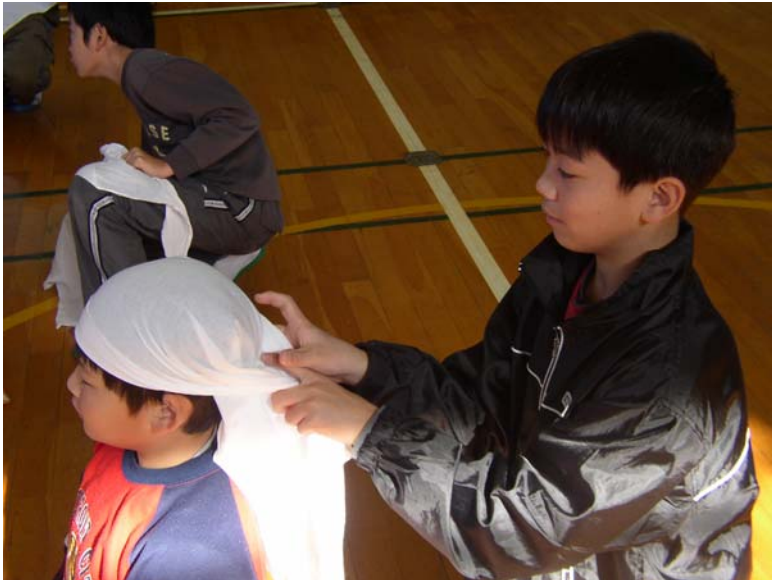
地域自主防災訓練参加



ひとり暮らしではないけど、昼間ひとりのお年寄りもいるよ。



応急処置法を学ぶ



消防署の方に教わって・・・



防災ウォッチング 危険箇所その1

防災ウォッチング 危険箇所その2



防災ウォッチング 危険箇所その3





DIGの実施



けやき祭

けいたい電話 (けいたいでんわ)



けやき祭



けやき祭を終えて(二年生の感想)

2月(15)日

二年

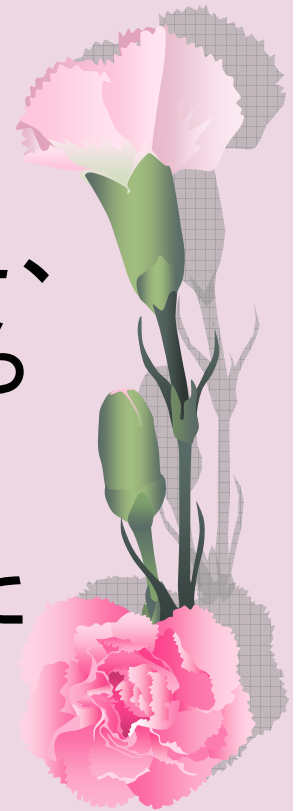
なまえ

じしんはこわいね。

わたしは、5、6年生のじしんでじしんはこわいなーと
思いました。きょう年もじしんのことを見たけどさうい
う気持ちじゃありませんでした。そして、わかんない大
きいじしんやつなみがおきたんだな、と思いました。
このじだいに大きなじしんがきたらどうしよう。今
はそんな気もちです。いつもそんな気もちで、あ
ちと、とうとうこうしていきます。6年生は、けが人が
でたり、ものがたおれたりするのを見てきました。
5年生ではじしんがきてもいいように、じぶん
をしておいたほうがいいよというげきでした。また
じぶんびいどろには、ひつよいなものとかはいれないよ。
というげきのばいもありませんでした。わたしはその日の
一、おおかあさんに、おじしんのじしんがきよ
ういきました。じしんについては、5、6年生がこ
ちをおしえてくれなした。来年はもっとも
はささきとるでしよう。と、おどろきました。たか
たしは来年のけやき祭りを、おどろきして

けやき祭を終えて(保護者の感想)

- ❁ 当時のことを思い出し、涙が出ました。
- ❁ 子どもの方が意識が高く、これを機に家庭での防災意識を高めていかなければ・・・という気になった。
- ❁ 今後、起こるであろう東海地震に備え、県内の小学校との情報交換など、さらに広めていけるとよい。子どもの目で調べ、感じ取ったことは、同じ子どもたちに伝わりやすいと思う。



成果

- 実際にあった地震災害の追究を通し、防災を現実的なものとして受け止めることができた。
- 子どもたちの防災活動が地域の大人を巻き込む防災活動に発展してきた。
- 災害時には役立ちたいという、防災意識が高まってきた。

これからの取り組み

南伊豆ならではの人と人の心をつなぐ活動を更に深め、地域への発信を今後も続ける。

- あいさつを大切に心をつなぐ。
- 自分にできることを増やす。
(学校が避難所になったときに役立つこと)
- 地域の活動に積極的に参加する。
(地域自主防災訓練・地域の伝統行事など)



THE END